



よみもの



ガラスのうまの足を折ってしまったすぐり。うまは悲しげな目ですぐりを見ると、足が折れたままにげだしてしまいます。うまを追いかけて、すぐりのぼうけんが始まります。いったいどこへ行ってしまったのでしょうか？

『ガラスのうま』
征矢 清(そや きよし)/作
偕成社

8月31日まで、10かいのてんじコーナーで「本の中からふしぎなせかいへ」のてんじをしています。

としょかんには、ここでようかいしたよみもののほかにも、たくさんのおもしろい本があります。

ぜひ、としょかんにあそびにきてください！

ちよだくいつちよだとしょかん

ちよだくだんみなみ1-2-1 ちよだくやくしょ9かい・10かい

☎03-5211-4289・4290



さくせい:ちよだとしょかんじどうサービス(2015.7)



3・4年生むけ



本の中からふしぎなせかいへ



森のおくや、古いとびらのむこうがわ、そして本の中…「ふしぎなせかい」へ行ける道が、思いがけないばしょにつながっているかも！？

さあ キミも本をひらいて、ふしぎなせかいへたび立とう！

「ふしぎなせかい」をテーマにした、おもしろい本をしょうかいします！

えほん



何まいもの板で打ちつけられた、きみょうなとびら。「あけるな」「あけるとたいへん」あけるなと言われると、あけたくなくなってしまふもの。はたして、とびらの先にあるものは…？


『あけるな』
谷川 俊太郎(たにかわ しゅんたろう)/作
復刊ドットコム

おもしろい本は、まだまだあります♪
ページをめくってみてね！






えほん


	<p>12人の美しいおひめさまのくつは、朝になるといつもぼろぼろ。なぜ？3日以内になぞをつきとめた者は、ほうびとしてひめを妻にめとらせるというおふれが出て…。おひめさまたちのひみつとは？</p>
<p>『おどる12人のおひめさま』 グリム/原作 ほるぷ出版</p>	




よみもの

	<p>夏休み、小学6年生のリナがやってきたのは霧の谷にあるふしぎな町。そこで出会ったのは、「めちゃくちゃ通り」のふしぎな人たち。下宿屋で働きながら、リナは身の回りにあるすてきなものに気づいていきます。</p>
<p>『霧のむこうのふしぎな町』 柏葉 幸子(かしわば さちこ)/作 講談社</p>	

よみもの

	<p>小学4年生のマサオのしゅみは、電車のキップあつめ。今いちばんほしいのは昭和44年4月4日のキップです。ある日、「タイムチケット」と書かれた紙切れを拾います。遊び半分の日付を書き込んでみると…。</p>
<p>『タイムチケット』 藤江 じゅん(ふじえ じゅん)/作 福音館書店</p>	

よみもの

	<p>またたびトラベルは、細い路地のおくにあるちょっと変わった小さな旅行会社。有名な観光地や高級なホテルは案内しません。旅行の代金も、お金ではありません。けれど、あなたの心に一生のこるすてきな旅をおとどけします。</p>
<p>『またたびトラベル』 茂市 久美子(もち くみこ)/作 学研教育出版</p>	

